



# ゆるすぽバドミントン

活動風景 (2013年3月24日)

まずは準備体操から。

そして体育館を10周走りました！

非常にゆっくりのペースだったので子どもたちにはチョット遅すぎた？  
もっと速く走りたくでうずうず。お父さんお母さんはあと1周多かったら倒れていたかも。



バドミントンの道具の話や活動のルール、頑張ってもらいたいことなどをコーチから説明。コーチたちもバドミントンを始めた時にはラケットに羽根が当たらなかった。ちゃんと練習することで上手になることを実体験している人がほとんど。失敗した恥ずかしさ、成功した嬉しさに寄り添います。

列になって次の順番を待つ。

次はさっきより上手に打ちたい！

ラケットにシャトルが当たると「パンッ」という心地の良く歯切れのいい音が鳴り渡り、コートはずっと奥へ飛んでいく。

子どもたちの笑顔がどんどん増えていきました。



子どもたちとは別グループで大人は練習。気になるはずの子どもたちの様子も見えない間もなく、夢中に。

あるお父さんは「今日初めて参加でしたが、次回から、自分のために参加します」と。運動不足の解消とストレス発散にちょうど良かったようです。

練習後にはシャトルの羽根や汗、汚れがあるので床をきちんとモップ掛け。

横一線で歩調を合わせながら。

周囲の状況を見極めながら歩調を合わせ、息を合わせるということもコミュニケーションスキルの大切な基本の一つ。



最後は整列してあいさつ。

「楽しかったですか？」という問いかけに子どもたちからは「もっとやりたい」という不満の声。大人からは「いや、いっぱいいっぱいです」と。おつかれさまでした。

次回は5月26日(日)を予定しています。隔月(奇数月)の第四日曜日に開催。

運動が苦手、あるいは休日、時間をもてあましている子ども、ご家族を対象にしています。

ご希望・お問い合わせは [gakushushien@gmail.com](mailto:gakushushien@gmail.com) 事務局：学びのいろは まで。